

地域調査士認定委員会内規第5号

学部科目の認定に関する審査要領

(総則)

第1条 地域調査士認定規程(以下「規程」という。)第4条第1項の科目(以下「学部認定科目」という。)の認定のための審査は、規程及び地域調査士認定規程細則(以下「細則」という。)に定めるところによるほか、この要領に基づいて行うものとする。

(基本原則)

第2条 学部認定科目は、地域調査士としての学識及び学問的な素養の裏付けとなる科目として、学界の定説、通念等から見て細則別表第一に掲げる科目に相当する科目であると認められるものでなければならない。

(要件)

第3条 学部認定科目は、大学から認定の申請があった科目のうち、次条に規定する要件を満たすものとする。

(キーワード)

第4条 学部認定科目は、細則別表第一の科目に相当する科目として別表Aの科目の細分欄に掲げる科目であって、それぞれ、別表Bのコアキーワード欄に掲げるキーワードに該当する授業の全てを行い、かつ、コアキーワード欄に掲げるキーワードに該当する授業及び選択キーワード欄に掲げるキーワードに該当する授業を合わせ、合計10個以上の授業を行うものでなければならない。

2 別表Aの科目の細分欄に掲げる科目のうち、卒業論文指導若しくは卒業研究指導又はこれらに類する科目の履修を義務としないで提出することができる卒業論文については、コアキーワード及び選択キーワードに該当する授業の有無を問わない。

(組合せ科目)

第5条 2個以上の科目を組合せることによって前条第1項の要件を満たすこととなる場合は、これら2個以上の科目を全て履修することを条件として、これら2個以上の科目を学部認定科目とすることができる。

(授業)

第6条 第4条の授業とは、概ね90分以上の講義又はこれに相当する実習等をいう。ただし、細則別表第一の小項目欄に掲げる科目のうち、フィールドワークについては、時

間数を問わない。

(授業の有無の判断)

第7条 各キーワードに該当する授業の有無は、シラバス若しくはこれに代わる文書又はこれらに相当する資料により判断するものとする。

(キーワードの見直し)

第8条 第4条第1項のキーワードは、必要に応じて随時見直し、その結果に基づき、この要領を改正するものとする。

2 前項の改正は、従前の認定の効力に影響を及ぼさない。

3 第1項の見直しに当たっては、次の各号に留意するものとする。

一 コアキーワードの数は、5個を標準とする。

二 選択キーワードの数は、10個以上15個以内を標準とする。

附則 この要領は、平成22年12月12日から施行する。

別表 A

細則別表の小項目の科目	科目の細分
地域の概念を扱う科目	地理学原論又はこれに類する科目
	人文地理学又はこれに類する科目
日本の地域特性を扱う科目	日本地誌又はこれに類する科目
地域の自然的特性を扱う科目	自然地理学又はこれに類する科目
	地形学又はこれに類する科目
	気候学又はこれに類する科目
	水文学又はこれに類する科目
統計処理に関する科目	地域統計学又はこれに類する科目
地図に関する科目	地図学又はこれに類する科目
	測量学又はこれに類する科目
	GIS 又はこれに類する科目
フィールドワーク	地域の人文的特性に関するフィールドワーク
	地域の自然的特性に関するフィールドワーク
地域に関する卒業論文の作成若しくは地域調査に関する卒業研究又はこれらに相当する科目	卒業論文指導若しくは卒業研究指導又はこれらに類する科目
	卒業論文

別表 B (2010 年 10 月 11 日版)

a 地域の概念を扱う科目

a1 地理学原論又はこれに類する科目

コアキーワード

- ① 地域概念
- ② 地域区分と地域分類
- ③ 地域スケール
- ④ 系統地理と地誌
- ⑤ 地域研究

選択キーワード

- ・ 地域開発
- ・ 地域経営
- ・ 自然地域
- ・ 文化地域
- ・ 社会地域
- ・ 農業地域
- ・ 鉱工業地域
- ・ 商業地域

- ・村落地域
- ・都市地域

a2 人文地理学又はこれに類する科目

コアキーワード

- ①資源と産業
- ②生活と文化
- ③グローバル化と現代世界
- ④土地利用
- ⑤地域構造

選択キーワード

- ・農村
- ・都市
- ・経済
- ・人口
- ・観光資源
- ・観光行動
- ・情報化
- ・産業立地
- ・知覚と行動
- ・歴史地理

b 日本の地域特性を扱う科目

b 日本地誌又はこれに類する科目

コアキーワード

- ①自然
- ②環境と生活
- ③文化
- ④生業と産業
- ⑤国土開発

選択キーワード

- ・風土認識
- ・景観
- ・人口
- ・交通
- ・都市と村落
- ・貿易
- ・余暇
- ・観光

- ・災害
- ・地方誌

c 地域の自然的特性を扱う科目

c1 自然地理学（総合）又はこれに類する科目

コアキーワード

- ①地形
- ②気候
- ③陸水と海洋
- ④植生
- ⑤自然災害

選択キーワード

- ・自然史
- ・生物多様性
- ・生態系
- ・環境問題
- ・環境モニタリング
- ・自然環境の変化
- ・開発保全計画
- ・環境アセスメント
- ・自然保護
- ・土地条件と土地利用

c2 地形学又はこれに類する科目

コアキーワード

- ①日本の地質と地形の特徴
- ②地形のスケール
- ③地形の発達
- ④第四紀の環境変動
- ⑤地形と災害

選択キーワード

- ・火山地形
- ・変動地形
- ・侵食地形と堆積地形
- ・海岸地形
- ・カルスト地形
- ・氷河地形と周氷河地形
- ・気候地形
- ・水文地形

- ・ 乾燥地形
- ・ 地形と自然災害

c3 気候学又はこれに類する科目

コアキーワード

- ① 気候要素と気候因子
- ② 気候区分
- ③ 気候誌
- ④ 総観気候
- ⑤ 気象災害

選択キーワード

- ・ 大気の大循環
- ・ 大気候・中気候・小気候
- ・ 放射収支
- ・ 水収支
- ・ 地球温暖化
- ・ 異常気象と気候変化
- ・ エルニーニョとラニーニャ
- ・ ヒートアイランドとクールアイランド
- ・ 大気汚染
- ・ 局地風

c4 水文学又はこれに類する科目

コアキーワード

- ① 水文学
- ② 水循環
- ③ 水収支
- ④ 水問題
- ⑤ 水質

選択キーワード

- ・ 降水、浸透、流出、蒸発散の地域特性
- ・ 地下水流動
- ・ 森林と水源涵養
- ・ 水害
- ・ 土砂災害と砂防
- ・ 土地利用の変化と流出変化
- ・ 水資源の利用
- ・ 海洋と陸水
- ・ 河川と湖沼

・氷河と雪

d 統計処理に関する科目

d 地域統計学又はこれに類する科目

コアキーワード

- ①統計と統計地域
- ②基礎統計量とグラフ表現
- ③地域特性分析
- ④サンプリングと調査法
- ⑤質問票の作成

選択キーワード

- ・地域的分布
- ・地域の分類
- ・地域間移動と相互作用
- ・ネットワーク分析
- ・地域変化と予測
- ・クロス集計
- ・属性間の関係
- ・検定と推定
- ・多変量解析
- ・数量化理論

e 地図に関する科目

e1 地図学又はこれに類する科目

コアキーワード

- ①地図の概念
- ②地形図
- ③主題図
- ④地図投影法と座標系
- ⑤地図の利用

選択キーワード

- ・地図の歴史
- ・図式
- ・地形図の読図
- ・図上計測
- ・総描
- ・地形分類図
- ・土地利用図
- ・メッシュマップ

- ・統計地図
- ・視覚変数

e2 測量学又はこれに類する科目

コアキーワード

- ①測量の歴史
- ②誤差論
- ③測量原理
- ④測量の方法
- ⑤測量と法律

選択キーワード

- ・簡易測量
- ・距離測量
- ・角測量
- ・平板測量
- ・GPS
- ・トータルステーション
- ・地形測量
- ・河川測量
- ・写真測量
- ・空中写真

e3 GIS 又はこれに類する科目

コアキーワード

- ①GIS の概念と構成
- ②地図と GIS (内容として、実世界のモデリング等)
- ③空間データの構造
- ④空間データの視覚化
- ⑤GIS の利用

選択キーワード

- ・空間データの取得と作成
- ・オーバーレイ
- ・バッファリング
- ・空間分割 (ボロノイ図等)
- ・空間検索 (ブール演算等)
- ・アドレスマッチング
- ・地形表現 (段彩・陰影・傾斜角・傾斜方向等)
- ・土地利用表現
- ・「数値地図」

- ・「基盤地図情報」
- ・「電子国土基本図」
- ・「国土数値情報」

f フィールドワーク

f1 地域の人文的特性に関する調査

コアキーワード

- ① フィールドワークの企画
(内容として、準備・仮説・地域設定・調査・まとめに至る過程等)
- ② 文献・地図・史資料の収集整理
- ③ 調査項目の検討
- ④ フィールドワークの実施
(観察・測定・面接等)
- ⑤ フィールドワークのまとめ
(図表化・分析・仮説検証・レポート作成等)

選択キーワード

- ・土地利用調査
- ・地域構造
- ・社会生活
(生活・政治・村落・都市等)
- ・経済活動
(農牧業・林業・水産業・鉱業・工業・建設業・流通・金融業・交通等)
- ・人口変化
- ・地域文化
- ・地形図の利用と作業
- ・空中写真の利用と作業
- ・空間データの利用と作業
- ・衛星画像の利用と作業
- ・景観調査
- ・聞き取り調査
- ・質問票調査
- ・地図化

f2 地域の自然的特性に関する調査

コアキーワード

- ① フィールドワークの企画
(内容として、準備・仮説・地域設定・調査・まとめに至る過程等)
- ② 文献・地図・史資料の収集整理
- ③ 調査項目の検討

④フィールドワークの実施

(観察・測定・面接等)

⑤フィールドワークのまとめ

(図表化・分析・仮説検証・レポート作成等)

選択キーワード

- ・ 気候調査
- ・ 土壌調査
- ・ 水文調査
- ・ 植生調査
- ・ 地形調査
- ・ 地形図の利用と作業
- ・ 空中写真の利用と作業
- ・ 空間データの利用と作業
- ・ 衛星画像の利用と作業
- ・ 景観調査
- ・ 聞き取り調査
- ・ 質問票調査
- ・ 地図化

g 地域に関する卒業論文の作成若しくは地域調査に関する卒業研究又はこれらに相当する科目

g1 卒業論文指導若しくは卒業研究指導又はこれらに類する科目

g2 卒業論文

以上